

### 21 指揮者のために。ダビデの賛歌

21:1 主よ。王はあなたの御力を、喜びましょう。あなたの御救いをどんなに楽しむことでしょう。

21:2 あなたは彼の心の願いをかなえ、彼のくちびるの願いを、退けられませんか。セラ

21:3 あなたは彼を迎えてすばらしい祝福を与え、彼のかしらに純金の冠を置かれます。

21:4 彼はあなたに、いのちを請い求めました。あなたは彼に、とこしえまでの長い日々を与えられました。

21:5 御救いによって彼の栄光は、大きい。あなたは、尊厳と威光を彼の上に置かれます。

21:6 あなたは、とこしえに彼を祝福し、御前の喜びで彼を楽しませてくださいます。

21:7 まことに、王は主に信頼し、いと高き方の恵みによってゆるがないでしょう。

21:8 あなたの手は、あなたのすべての敵を見つけ出し、あなたの右の手は、あなたを憎む者どもを見つけ出します。

21:9 あなたの御怒りのとき、彼らを、燃える炉のようにさめしましょう。主は御怒りによって彼らをのみ尽くし、火は彼らを食い尽くすでしょう。

21:10 あなたは、地の上から、彼らのすえを滅ぼさしましょう。また、人の子らの中から、彼らの子孫をも。

21:11 彼らが、あなたに対して悪を企て、たくらみを設けたとしても、彼らには、できません。

21:12 あなたは彼らが背を見せるようにし、弓弦を張って彼らの顔をねらわれるでしょう。

21:13 主よ。御力のゆえに、あなたがあがめられますように。私たちは歌い、あなたの威力をほめ歌います。

神によって立てられた指導者が「楽し」んで「喜」ぶことができるなら、その共同体は祝福されています。一方またイスラエルのように、王が主に「信頼」しないで、別のものに頼るなら祝福は去って行きます。

主による指導者のために祈るとは、単に人間的な喜びのためではなく、その人の信仰のためにも祈るということです。最終的には主の「威力をほめ歌」うようになるために、とりなしの祈りをするのです。

また私たちがクリスチャンとして、この世の指導者ともなり得る存在です。主に信頼することによって、真の指導者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

